

【令和2年度 東中熟議】 テーマ『コロナ禍におけるボランティア活動について』

11月25日(水) 補充学習の時間に、東中熟議を実施しました。今年にはコロナ禍のため、学校運営協議会の委員には参加いただけなかったため、教師代表10名、生徒代表40名にて行いました。「コロナ禍におけるボランティア活動について」をテーマとし、福岡教育事務所社会教育主事の2名をファシリテーターとして招き、ワールドカフェ方式で、様々なアイデアを出し合いました。

ワールドカフェ方式とは、カフェでくつろいでいるようなリラックスした雰囲気のもと行われる会議のことです。参加者は4~5人ずつに分かれ、テーブルごとに対話します。一定時間が過ぎれば、テーブルのメンバーを入れ替え、対話することを繰り返していきます。少人数で対話をするすることで、相手の意見を聞きやすく、自分の意見も言いやすいのが特徴です。

熟議では、ファシリテーターの進行のもと、リラックスした雰囲気で行われました。第1ラウンドでは、テーマに沿った多くのアイデアが、模造紙に言葉や図で書き込まれていきました。第2・3ラウンドでは、それぞれが違うグループに移動し、アイデアをそのグループの模造紙に書き足しながら伝え合いました。第4ラウンドでは、最初のグループに戻り、模造紙いっぱい書き込まれたアイデアをもとに、実施可能なボランティア活動について発表し合いました。

実際に考え出されたアイデアが次のとおりです。

- ① 応援メッセージ
- ② 石けん、マスク作成→老人ホームに配付
- ③ ベルマーク
- ④ キャップ集め
- ⑤ SNSを使って情報発信
 - ・地域の良さを発信(地域CM)、糸島の野菜をネットで販売し、利益を地域へ還元する
 - ・クラスCM ・学校CM ・部活CM
- ⑥ 清掃活動(学校周辺のマスクなどのゴミ拾い)
- ⑦ 消毒の手伝い ⑧ 地域MAP
- ⑨ 消毒活動(押しボタン、ガードレール、手すり、駅前等)
- ⑩ テイクアウトのメニュー考案
- ⑪ 花を植える ⑫ ZoomやSkypeを使って、交流活動 ⑬ 募金 ⑭ テレフォンカード集め
- ⑮ フードバンクにいらぬ食料を持っていく ⑯ ウォークラリー(他校とも同時開催)
- ⑰ 困っている人に応援メッセージ ⑱ 牛乳パックから紙を作って、手紙(文通)
- ⑲ 東中折り紙教室 ⑳ 東中ロケット教室 ㉑ 中学生同士の悩み相談、オンライン相談室

【熟議を通して、生徒の感想より】

多くの意見を聞いて、その中の1つ1つの意見を多角的に考え、皆で深め合うことができ、楽しく熟議を進めることができました。「できないこと」よりも「できること」や「地域のためにできること」などを考えることで、どんどん想像が膨らみ、「ボランティアに参加したい」という意欲がますます高まりました。この膨らんだ想像を皆で交流し、次は実行してみたいです。

